

2026年7月1日

各位

会社名 株式会社平山ホールディングス
代表者名 代表取締役社長 平山 善一
(コード番号:7781 東証スタンダード市場)
問合せ先 IR推進室 (TEL. 03-5769-4680)

2026年6月期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、決算集計過程において、2025年8月14日に公表いたしました2026年6月期（2025年7月1日～2026年6月30日）の連結経常利益が前回発表業績予想を30%以上上回ることとなりましたので、開示基準を踏まえ下記のとおりお知らせいたします。

1. 2026年6月期連結業績予想の修正

(1) 2026年6月期連結業績予想数値の修正（2025年7月1日～2026年6月30日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	37,770	1,341	1,349	883	115.33
今回修正予想(B)	37,581	1,718	1,778	1,118	145.95
増減額(B-A)	△189	377	429	235	—
増減率(%)	△0.5	28.1	31.8	26.6	—
(ご参考) 前期実績 (2025年6月期)	36,220	1,270	1,300	858	112.36

(2) 修正理由

売上高は、防衛産業関連、医療機器関連、電子デバイス・半導体製造関連及びゴム製品を含めた自動車関連の受注の増加が堅調に進んだこと等により増収となりました。特に第3四半期においては、電子デバイス・半導体製造関連の新規受注が増加しました。インソーシング（構内作業請負）・派遣事業が業績を牽引し、新規・既存顧客からの受注が増加するとともに、平山グループが得意とする現場改善により生産効率が改善したこと等が増収増益に寄与しました。また、国内外の現場改善に係るコンサルティング、海外企業及び教育機関からの研修案件が増加しました。

営業利益及び経常利益は、2025年10月からの最低賃金改定による派遣単価アップにつ

いて概ね理解を得られたことにより収益を改善できたこと、各請負事業所において改善活動が実り収益を改善できたこと、ゴム製品を含めた自動車関連生産が伸長したこと、数理計算上の差異の影響による退職給付費用の減少等から増益となりました。

当期純利益は、増収により各段階利益が増加したことから上回る見込みとなりました。

この結果、売上高は375億81百万円（計画比0.5%減）、営業利益17億18百万円（計画比28.1%増）、経常利益17億78百万円（計画比31.8%増）、親会社株主に帰属する当期純利益11億18百万円（計画比26.6%増）となりました。

2. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無

2026年5月15日に公表いたしました2026年6月期（2025年7月1日～2026年6月30日）の配当予想に関しましては、現時点において、変更ありません。

（注）上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上